

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	愛知県みよし市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	みよし市文化財保護計画（無形民俗文化財郷土芸能囃子・棒の手伝承活動）		
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>みよし市の文化遺産を後世に伝承し、文化遺産を活用し地域活性化を図るため、本市の地域の現在も存続する伝統芸能である各地区のお囃子及び棒の手の伝承活動を通じて、文化遺産の重要性、地域のつながりに活用することを目指す。</p> <p>1 地域で行われている保存会の練習の公開（平成28年度～平成32年度） 2 市で主催する郷土芸能伝承活動発表会への参加促進（平成28年度～平成32年度） 3 地域の祭礼で使用する山車及び囃子台の修理、楽器・道具の修理・新調（平成28年度～平成33年度）</p>			
6 実施体制			
<p>みよし市教育委員会が本実施計画に係る全体の企画調整や各補助事業に係る指導を行う。主な担当課、役割は次のとおり。</p> <p>みよし市教育委員会教育行政課資料館：各補助事業における文化財の取扱い等に関する指導・調整。市内関係各課との連携・調整。</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。 みよし市郷土芸能伝承活動推進実行委員会（委員長 原田 哲） 構成団体（みよし市内、囃子保存会 5 団体、棒の手保存会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 1,410 千円	平成29年度申請額： 572 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
郷土芸能を通じて文化財を次世代に引き継ぐことにより、絆が生まれ、民俗芸能の保存と推進ができる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
なし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	みよし市教育委員会教育行政課資料館		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	郷土芸能伝承活動発表会の一般観覧数			関連事業 :	①	
目標値 1 :	平成 28 年度		480 人	⇒	平成 32 年度 550 人	
設定根拠 1 :	毎年開催の郷土芸能伝承活動発表会への一般観覧者数で、市民の伝統芸能に対する理解・関心度をはかる。平成28年度の480人から毎年3%程の増加を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	実行委員会を構成する各保存会員に所属し、伝統文化を伝承する小中高校生の人数			関連事業 :	②③	
目標値 2 :	平成 28 年度		270 人	⇒	平成 32 年度 295 人	
設定根拠 2 :	平成26年度276人から27年度265人まで減少した練習参加者が、28年度より練習を公開し、経年劣化で破損した楽器を整備することで、28年度には270人に増加。現状を維持しつつ毎年5人の増加を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	人	人	人	人	

